

カリキュラムポリシー

こども学科

こども学科における人材養成の方針は、建学の精神である「以和為貴」を基盤に置き、豊かな感性と教養を身につけた、心ある保育者の養成を旨としています。保育者には、保育に関する専門的知識と技術のみならず、幅広い関連する知識とそれを実践の場で活用・応用することが求められます。その結果、自ずと我が国における保育の質の向上に貢献することができるわけです。

こども学科では、専門的な知識・技術をもって社会に貢献できる保育者養成のためのカリキュラムを編成しています。社会人としての教養を涵養するための一般教育科目と、仏教的精神について学ぶ科目を配置し、豊かな感性と教養を持つ、コミュニケーション能力の優れた保育者を養成します。また、表現力や協働性を確かなものにするための演習科目と実習カリキュラムを段階的に組み立て、実践の場で応用できる力を養います。

学修成果の評価にあたっては、すべての科目について設定された達成目標の到達度によって評価します。基礎的・理論的な知識を修得する科目については定期試験によって、知識を統合する科目や演習科目・実習科目については、実技や課題に対する具体的成果物によって、それぞれの科目の達成度を評価します。